

令和4年度

松江県土整備事務所

（広瀬土木事業所）

主要事業説明資料

令和4年8月

<構成・目次>

[道路]		P1～2
①主要地方道 安来木次線(切川2工区)		
②一般県道 安来インター線(島田2工区)		
[河川]		P3
①斐伊川水系 吉田川		
[維持・管理]		P4～5
①橋梁耐震補強		
②道路施設の老朽化対策の推進		
[ダム]		P6
①ダム施設設備の更新(布部ダム・山佐ダム)		

主要地方道 安来木次線（切川2工区）

全体事業費 3,186百万円
R4予算額 310百万円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点） 77%

- ・安来木次線は、国道9号（安来市安来町内）から国道54号（雲南市木次町内）に至る幹線道路です。
- ・事業区間の現道は、第一次緊急輸送道路に指定されていますが、家屋・店舗が連担し、狹隘区間があることから、**バイパス道路を整備**しています。今年度は、**JR山陰本線アンダーパス付近を整備**します。

【事業箇所】

はしまちよう
安来市飯島町
きれかわちよう
～安来市切川町



【R4事業内容】

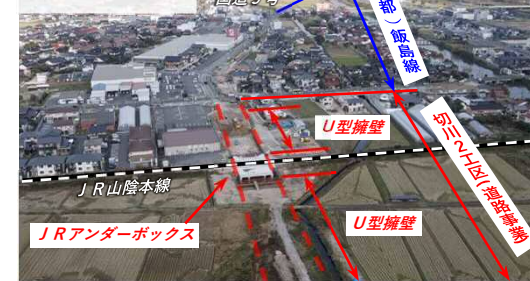
- ・擁壁工



①供用済み箇所



②施工中箇所



【期待される整備効果】

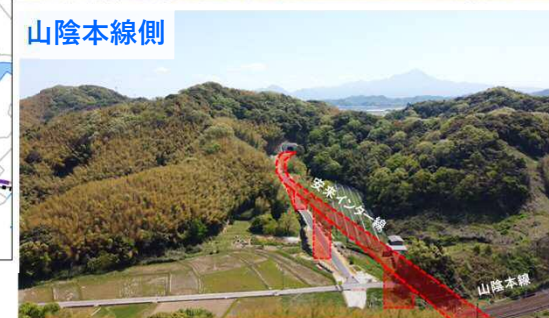
- ・現道交通の転換・分散により、**安来市街地の渋滞緩和**が期待されます。
- ・ネットワーク強化による**物流の効率化**が図られます。
- ・災害時の物資輸送路／避難路の確保により、**第一次緊急輸送道路としての機能強化**が図られます。

全体事業費	4,013百万円
R4予算額	203百万円

事業進捗率 (R3 末時点) 56%

- 一般県道安来インター線は、県道安来木次線（安来市安来町内）と県道布部安来線（安来市島田町内）を結ぶ幹線道路であり、安来 I C へのアクセス道路として商工業、観光振興に資する重要な路線です。
- 本工区は、山陰道と市内の工業団地とのアクセス強化や、山陰道と国道 9 号との接続による広域ネットワークの形成を目的として**バイパス整備**を行っています。

安来市黒井田町
～安来市島田町



・橋梁下部工

- 山陰道(安来IC)と国道9号を、JR山陰本線との立体交差により最短で結ぶことで、周辺工業団地へのアクセス向上や、山陰道との広域ネットワーク形成により、**商工業や観光振興など地域産業の活性化**が図られます。
- 国道9号の迂回路として、**交通の分散化による渋滞緩和**が期待されます。

P2

ひいかわ よしだ
斐伊川水系 吉田川 (防災安全交付金事業)

全体事業費 4,338,000千円
 R4 予算額 354,000千円

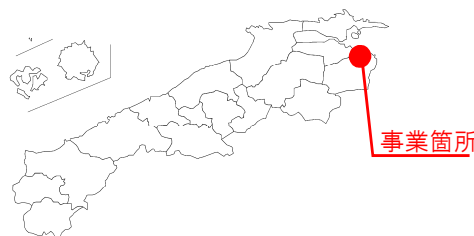
事業進捗率 (R3 末時点) 85.6%

【事業概要】

- 吉田川は、能義平野のほぼ中央を流下するもので、上流～中流部は県下有数の穀倉地帯となっており、下流部は国道9号沿道に住宅地が形成されている。
- 流域では古くから水害に悩まされ、特に昭和9年、20年、26年において、家屋・農地等の浸水被害が頻発しており、洪水被害防止を目的とした河川改修が必要とされている。
- このため、河道の拡幅・掘削により、著しく不足する流下能力を向上し、頻発する浸水被害の解消を図る。

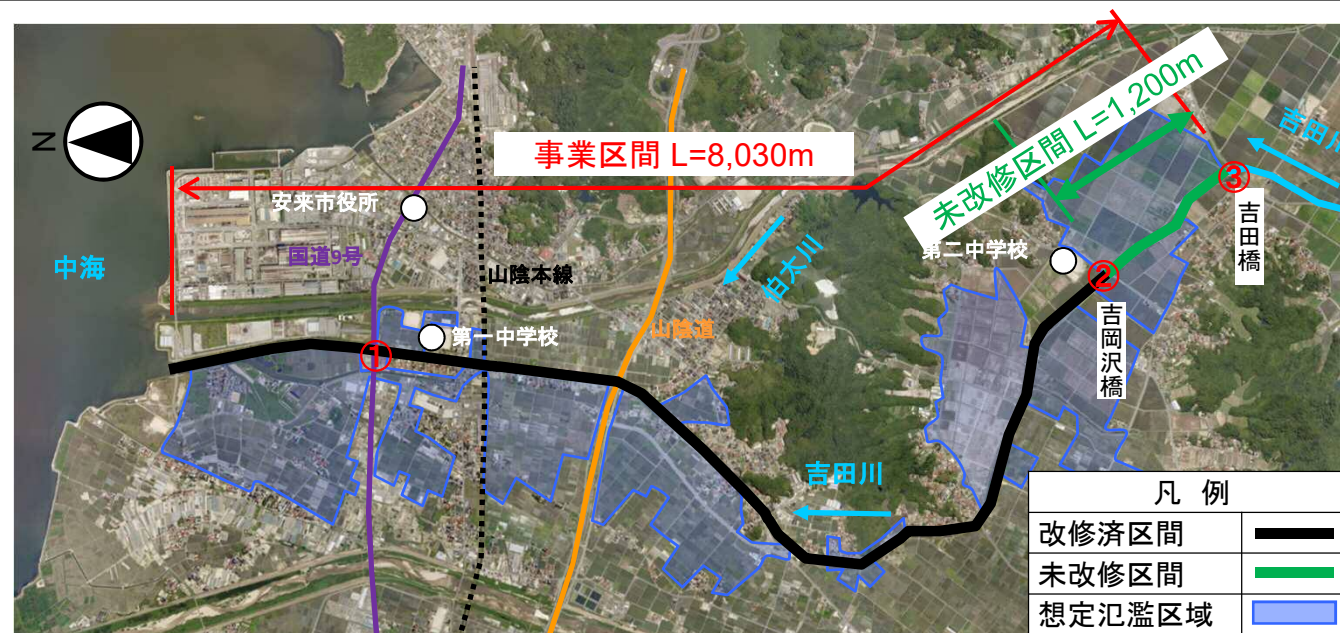
【事業箇所】

安来市飯島町～折坂町地内



【R4 事業内容】

- 河道掘削工、護岸工
- 橋梁上部工



橋梁耐震補強

R3当初予算額 85,000千円
R3補正予算額 0千円
R4当初予算額 130,200千円

【事業概要】

- ・ 島根県では、緊急輸送道路上にある「橋長15m以上かつ複数径間の橋梁」を対象として、耐震性の低い平成7年以前の道路橋示方書を適用した**橋梁の耐震補強**を進めている
- ・ 広瀬土木管内では、対象12橋のうち7橋完了、**令和4年度は3橋を施工予定**（R3繰含む）

路線名	橋梁名	施工位置	全体事業内容	令和4年度 事業内容	備考
国道432号	三郎谷橋	安来市 広瀬町 祖父谷	橋長110m 下部工補強2基 落橋防止装置2基	落橋防止装置 2基	R3繰
国道432号	楮平橋	安来市 広瀬町 祖父谷	橋長128m 下部工補強1基 上部工補強1基 落橋防止装置2基	下部工補強 1基	R4
(主)安来伯太 日南線	宇賀荘大橋	安来市 清井町	橋長121m 下部工補強3基 落橋防止装置5基	落橋防止装置 2基	R4

令和3年度 国道432号 三郎谷橋

橋脚巻立部 コンクリート打設状況



令和3年度 (主) 安来伯太日南線 宇賀荘大橋



P4

道路施設の老朽化対策の推進

R3当初予算額 76,400千円
R3補正予算額 60,000千円
(橋梁点検9,000千円含む) R4当初予算額 44,600千円

◆取り組み◆

- ・県では、令和2年度から橋梁・トンネル等、道路を構成する主要な施設の老朽化対策を加速
- ・広瀬土木管内では、令和2年度の点検で44施設（橋梁41橋、トンネル2本、シェッド・シェルター1基）のうち「早期に修繕が必要（健全度Ⅲ）」と5施設（橋梁3橋、トンネル1本、シェッド・シェルター1基）で判定されました。これらは令和6年度末までに修繕を完了させる予定
- ・また、県全体の目標として平成30年度までに行った**1巡目の点検で健全度Ⅲ**と判定されている施設は**令和5年度までに修繕**
広瀬土木管内には**橋梁7橋、トンネル5本が該当** 今後、老朽化対策を加速する

◆施工事例◆



R3施工 宝来橋

断面修復修繕



工事名 宝来橋 橋梁修繕工
工種 断面修復工
高欄部 上流側
作業完了

【橋梁修繕 R4予定】

- (一) 広瀬荒島線 割田橋 床板修繕工事
- (一) 布部安来線 横路橋 支承修繕工事

【シェッドシェルター修繕 R4予定】

- (一) 草野横田線 縄久利峠雪覆坑修繕工事



R3施工 小竹大橋

橋梁支承修繕



工事名 小竹大橋 橋梁修繕工
場所 AI G1
支承修繕工
上塗り 塗布完了
(カーボンスリット15J)
施工前

P5

R3当初予算額	284,407千円
R3補正予算額	130,133千円
R4当初予算額	272,379千円

ダム施設設備の更新

【主要事業】

- ・ダム施設設備の更新を行います。
放流警報設備、テレメータ設備
放流設備、取水設備、照明設備等

【事業箇所】 安来市広瀬町

【R4年度事業概要】

布部ダム

- ・放流警報設備更新
- ・テレメータ設備更新
- ・天端照明灯更新
- ・放流設備外更新設計

山佐ダム

- ・下げ振りたわみ計更新
- ・流量計更新
- ・漏水量計更新
- ・放流設備等更新設計

布部ダム



テレメータ放流警報設備



放流警報設備



放流警報設備



テレメータ放流警報設備



テレメータ設備



テレメータ設備



テレメータ放流警報設備



放流設備



放流設備



山佐ダム



たわみ計



たわみ計



流量計



放流設備



漏水量計



漏水量計



放流設備



漏水量計



漏水量計

